

子どもも大人も 無邪気に楽しめるくさつ図書館まつり

草津市立図書館では、10月28日(土)に「第6回くさつ図書館まつり」を開催しました！
市民の皆様が主体となり、人気のリサイクル市をはじめ、図書館クイズやおはなし会、むかしあそびの体験など
たくさんのブースを作り、子どもはもちろん大人も楽しめる盛りだくさんのイベントとなりました！
どのブースでも真剣に作業したり、大はしゃぎしたり、子どもたちの様々な姿を見ることができました。
また、館内をハロウィン仕様にし、いつもと違う図書館の雰囲気をお楽しみいただきました。



▲本のカバー貼り体験の様子
貼ってもらった本は図書館で貸出します

◀図書館クイズに挑戦する様子

ハロウィンコーナーの様子▶
仮装をして記念写真を撮ってもらいました

～草津の学校教育～



たび丸が聞く

草津市では、平成27年に「草津市教育振興基本計画（第2期）」を策定しました。この計画は「子どもが輝く教育のまち・出会いと学びのまち・くさつ」を基本理念とし、教育委員会が取り組む重点的な施策等を示しています。今年、平成31年までの5年間の計画の中間点です。

今回は、草津の学校教育について、たび丸が川那邊教育長にお話をうかがいました。



※ICT…Information and communication technology(略して「コンピュータや情報通信ネットワーク(インターネット等)」の情報通信技術を表す言葉である。

Q こんにちは。今日はたび丸が草津の学校教育についてのお話を聞きたい。まずは、草津で有名なICT教育について教えて欲しい。

はい。草津市は、全国に先駆けて小中学校の普通教室全部に電子黒板を、また、タブレットPCを3学級に35台の割合で、市内に合計4,800台を配備しています。各学校では、これらを活用した授業に取り組んでいます。

また、平成32年度から小学校で必修となる「プログラミング教育」については、文部科学省の調査研究を受けたり、ソフトバンクグループから貸与された人型ロボット「Pepper」を使ったりと、先進的な取組を行っています。

Q ICT教育の取組は全国的に有名たび？

草津市のICT教育の取組を見に、全国から多くの自治体関係者や学校の先生などが来ています。また、今年、日本教育工学協会(JAET)が実施する「学校情報化先進地域」に草津市が選定されました。市レベルでの選定は全国2番目です。高い評価をいただき嬉しく思っています。



Q 特徴的な取組として他にはどんなものがあるたび？

英語教育も草津の特色になってきました。市で作成した「草津市英語教育推進計画」に基づき、小中学校が連携した英語教育を推進しています。

小学校では学級担任が英語指導助手と一緒に授業を行っています。また、インターネット電話サービスのスカイプ(Skype)で海外との「オンライン授業」も行い、子どもが現地の外国人と会話する機会を作っています。

中学校では、先生も子どもも積極的に英語を使う「オールイングリッシュ」の授業を試みています。

また、草津の中学生は「英語検定(GTEC)」を受けています。去年の草津市における「英語検定3級以上相当の生徒の割合(中学生20ポイント以上、上回りしました。

Q ところで、草津の子どもたちの学力はどんな感じたび？

今年の全国学力・学習状況調査の小中学生各教科の平均正答率は、小中学校とも全教科で滋賀県平均以上です。また、小学校の国語Bと算数B、中学校の全教科では全国平均以上です。

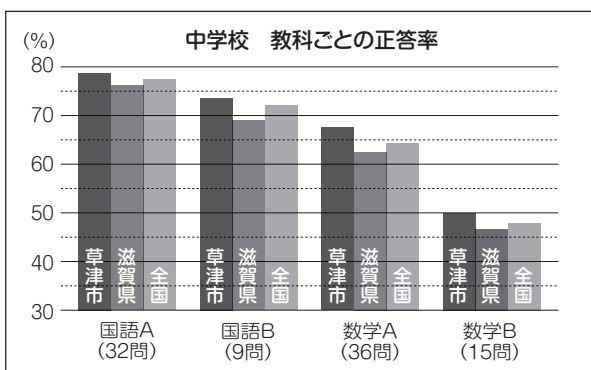
特に中学生はよかったですね。小学校からの積み上げと中学校での日々の指導が実を結んだと考えています。また、市独自で配置している教員や支援員などにより、落ち着いた学習ができています。

しかし、課題もあります。「家で学校の授業の予習や復習をしていない」と答えた小中学生の割合が低く、家庭学習が十分ではありません。自分で計画を立て、進んで取り組む姿勢が必要です。

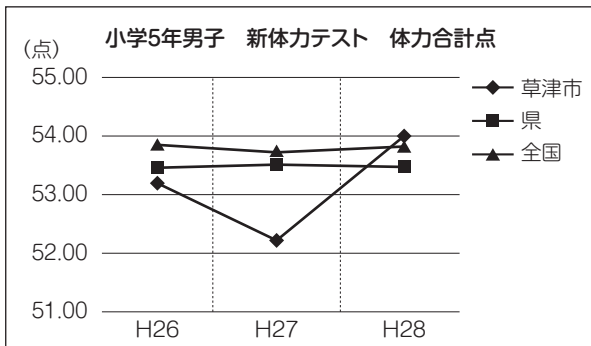
Q 学力も大切だけど体力も大切なことあるけど今ほど感じるたび？

子どもたちの体力向上に向けては、平成27年から「草津市小中学校体力向上プロジェクト」を始めました。そのなかで、立命館大学スポーツ健康科学部との共同で、運動のプログラムを開発しました。今、全小学校の体育の授業の数分間で行える運動として取り入れています。

その成果は、昨年の体力調査に表れました。気になっていた小学校5年生の男子でも「一気に伸びが見られ、新体力テストの体力合計点が全国平均を上回りました。



※平成29年度「全国学力・学習状況調査」による



※「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」による

Q 新しく道徳が特別の教科になるけど、心の教育はどんな感じだ？

草津市は、ここ5年間、毎年、文部科学省の道徳教育の研究指定地域として指定されています。この研究では、道徳授業や体験活動などの推進・充実、また、学校と家庭・地域との連携による道徳教育を実践しています。「道徳の時間」の教科化に向け、「考え、議論する授業」にも取り組んでいます。

調査では「自分にはよいところがある」、「いじめはいけない」と思う児童生徒の数が、ほぼ全国を越えるようになりました。道徳教育が充実してきているという手ごたえを感じています。

Q ところで、草津の学校には有名な方を学校に招く「スペシャル授業」というものがあるたび？

「夢・未来を抱くスペシャル授業「草津」のことですね。今年は、ロケット開発で有名な株式会社植松電機社長の植松努さん、騎手の武豊さん、パラリンピックの競泳競技メダリストである木村敬一さんなど、世界の舞台で活躍されているかたがたに話をさせていただきました。

子どもたちからは、「夢をあきらめずに頑張りたい」、「親や多くの人に支えてもらって生きていると感じた」等の感想があります。

Q 他にも、地域協働学校というものがあって、学校と地域の連携が強いと聞いたたび。

平成10年から取り組んできた地域協働学校は草津の自慢です。学校では、田植え、稲刈り、芋掘り体験、職場体験などで地域のかたの協力があります。また、地域の文化や歴史の学習、環境学習など、貴重な学習も行われています。

子どもは、地域の大人とのふれあいを通して学びを深めます。大人も培った経験や技能を發揮できます。地域協働学校には、子どもも大人も、世代を超えて学び合っているよさがあります。



▲稲刈りの様子

Q コミュニティ・スクールについても教えて欲しいたび。

草津市では、地域とともにある学校を目指して「コミュニティ・

スクールの取組を行っています。各小学校に学校運営委員会を設置し、委員会では学校の教育ビジョンの承認、学校支援体制の整備、学校評価等を行います。その委員には、地域や保護者にも参加してもらっています。コミュニティ・スクールを通して、学校への支援や協力とともに、地域や校長が望む学校像が実現できればと思っています。

Q 今日ありがとう。草津の教育のことがよくわかったたび。最後に一言お願いしたいたび。



お話ししましたように、草津の学校教育は着実な取組を進めています。しかし、もし、学校生活に満足していない子どもがいるとすれば、それは、とても残念なことです。

どの子どもたちも、「草津の学校に通ってよかった」「草津で教育を受けてよかった」と感じる教育行政を進めることが私の使命です。

これからもしっかりと取り組んでいきますので、御意見等があればお聞かせいただければと思います。ありがとうございます。

問 教育総務課

TEL(077) 560-2425
TEL(077) 560-2426
FAX(077) 560-2488

新任のごあいさつ



草津市教育委員会
教育委員 中西 長雄

教育のなかに自己表現

この度、草津市教育委員会委員に任命されました、中西長雄と申します。教育委員会のみなさまをはじめ、草津市の教育に関わられているみなさまにもお世話になることになりました。何とぞよろしくお願ひ申し上げます。

と申しています。

これまで私は、県立高等学校の芸術科書道の教諭をし、退職後は草津市の生涯学習課、社会教育「ゆつゆ」と「バンク」等を通じて、様々な書の活動を中心に教育活動を継続してまいりました。今年7月、草津市文化振興条例が施行されることを知り、その後、市の広報を見て、草津市教育委員の募集を知り、応募いたしました。これまでの経験をかき、私にも役に立っていることはないかと思っていたので、教育委員として何ができるのか、皆さまがたの御協力を得て、積極的に取り組んでまいります。

小学校・中学校それぞれの教育活動では、様々な活動が行われていて、子どもたちに知識や経験を体得させる学習が大切にされていることが多いのですが、これからの教育に求めることは、過去に起きた様々な事象から、現代を見つめること、人が持つ感性や能力を発現すること、社会の中で自分の役割を見つけ出せること、他を思いやる気持ちを育てること、喜怒哀楽を表現できる力を養い、その表現の場を持つこと、これらがこれからの教育の場で実践されなければならぬことと考えます。そのため、子どもたちには、生き生きと自己表現できる場や、機会を保障することが大切だと考えています。もちろん、高齢化社会を迎えている現実の中で、だれもが自己を表現できる場を作っていきたいと思っています。

「いじめ防止啓発強化月間」実施

“いじめ問題”は今大きな社会問題となっています。草津市の各小中学校では、SNSやスマートフォン等によるトラブルやいじめ事案に対して、情報モラル教育をはじめ、様々な取組を進めています。

今年度は、全小中学校において、いじめの認知件数が増加する9月を「いじめ防止啓発強化月間」と定め、いじめ防止に向け、児童生徒だけでなく、保護者や地域、関係機関と連携・協力しながら啓発活動等を集中的に実施しました。

今後とも、“いじめ問題”への対策として、各学校の実態に応じた取組をさらに充実させるとともに、子どもをいじめの被害者、加害者、傍観者にしないために、保護者や地域の皆様の協力が大切です。

「いじめ防止啓発強化月間」の取組例

渋川小学校 法教育講演会

【演題】「弁護士が伝えるいじめと人権のおはなし」
【講師】峯本 耕治 弁護士(大阪弁護士会)

「いじめ」をテーマに、弁護士による講演会を開催しました。SNSやスマホによるトラブルやいじめ問題について法的な観点から、弁護士が実際に関わってこられた少年事件などを例にあげ、児童にわかりやすくお話をしていただきました。



老上中学校 ピンクシャツデープロジェクト

老中祭では、生徒会が世界的に有名な「ピンクシャツデー」をとりあげて、自作映画を上映し、いじめをなくす呼びかけを全校生徒や保護者に行いました。

「いじめはしていないから自分に関係ない」のではなく、全員が深く考え許さない態度を持つことが解決への道であることを啓発しました。



いじめって何?

例えば、次のようなことが「いじめ」にあたります。

いじめの態様

- 冷やかしかからかい、悪口や脅し文句、嫌なことを言われる。
- 仲間はずれ、集団による無視をされる。
- 軽くぶつかられたり、遊ぶふりをして叩かれたり、蹴られたりする。
- ひどくぶつかられたり、叩かれたり、蹴られたりする。
- 金品をたかられる。
- 金品を隠されたり、盗まれたり、壊されたり、捨てられたりする。
- 嫌なことや恥ずかしいこと、危険なことをされたり、させられたりする。
- パソコンや携帯電話等で、誹謗中傷や嫌なことをされる。

問 教育総務課 TEL (077) 561-2437
FAX (077) 561-2488

早期発見・早期対応が大切です!

保護者や地域の皆様へ

子どもの出すサイン(変化)に気づいていますか? いじめは、どの子どもも被害者・加害者となる可能性があります。大人の気づきにくいところで起こります。

いじめの被害者は、いじめられていることを言い出さなかったり、いじめの加害者は、いじめと認識せず、からかいやいたずらなどを遊び半分で行ったりします。

「あれ?」もしかしてと思ったら、すぐに学校や相談窓口である草津市立少年センターに相談してください。

問 草津市立少年センター(相談窓口)
TEL (077) 562-6561
受付:平日 9:30~16:00

記事に対するご意見・ご感想などがございましたら下記までご連絡ください。

草津市教育委員会事務局 教育総務課

〒525-8588 滋賀県草津市草津三丁目13番30号
TEL:077-561-2425(直通) FAX:077-561-2488

教育委員会の活動については、草津市ホームページでご覧いただけます。
<http://www.city.kusatsu.shiga.jp/>

草津市教育委員会 **検索** 20号は3月1日発行予定です

あなたの声をお聞かせください

草津市教育委員会広報紙「コンパス」についてご意見をお聞かせください。

- ①よかった記事とその理由
- ②特集してほしい内容
- ③草津市の教育に対する思い・ご意見

以上3点を左記の連絡先(メール・FAX・郵送)のいずれかにお送りください。または右記のQRコードからも受付けています。アンケートにお答えいただいた方の中から抽選で、浮世絵葉書(草津宿街道交流館提供)を3名様にプレゼントします。(抽選を希望される場合は住所・氏名を忘れずにご記入ください)※いただいた個人情報は条例に基づき適正に管理します。※当選者の発表は商品の発送をもって代えさせていただきます。

